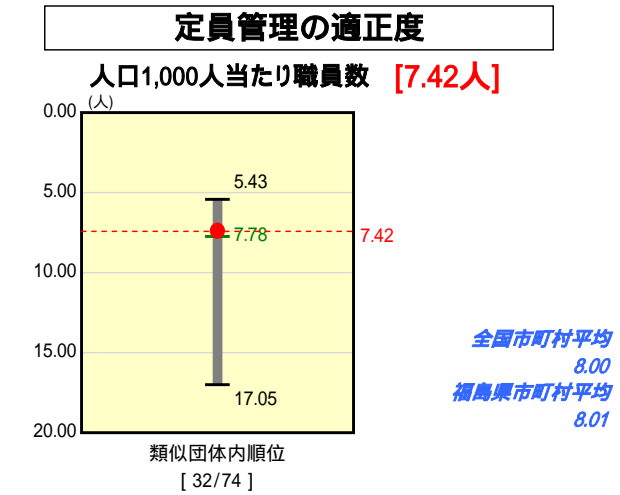
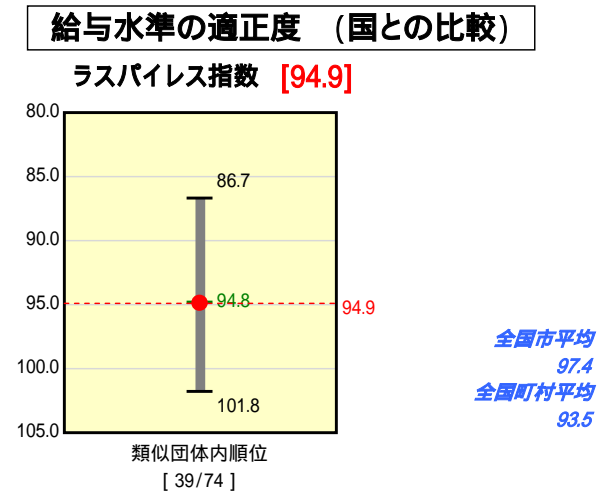
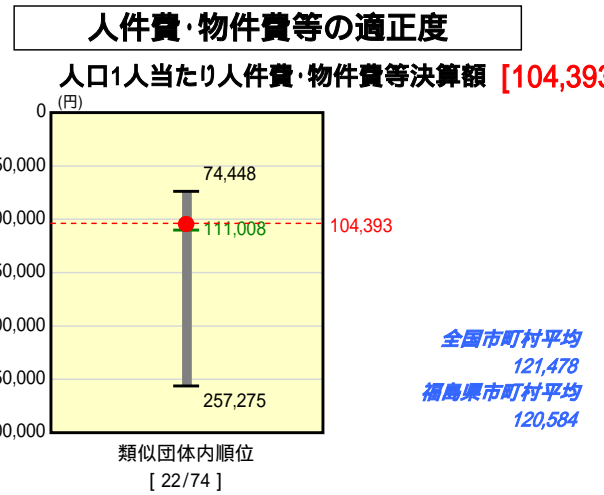
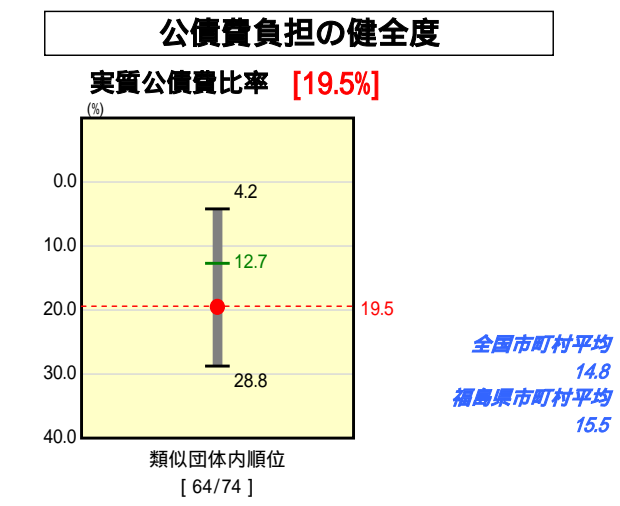
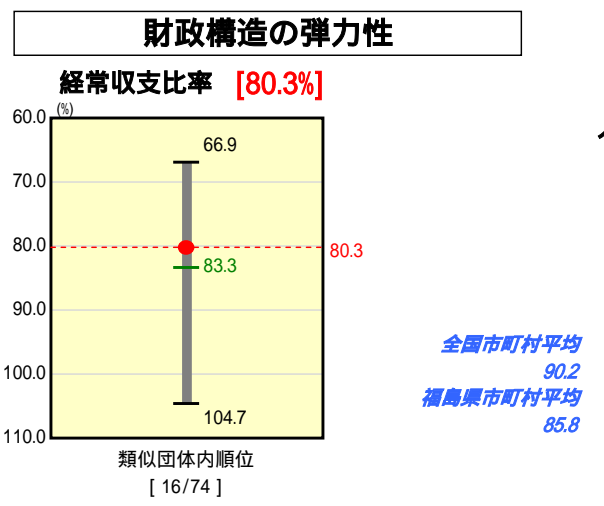
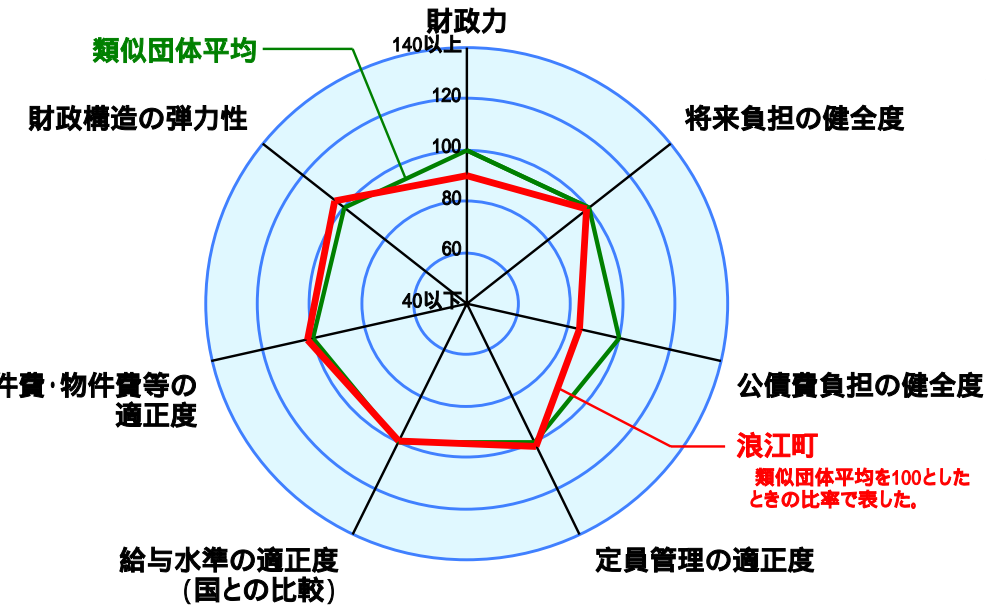
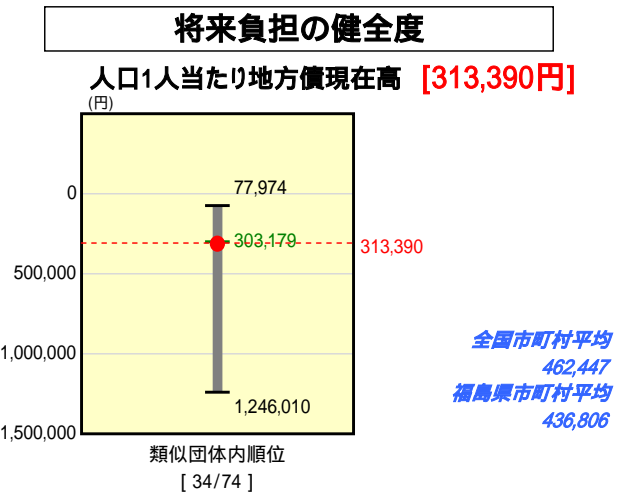
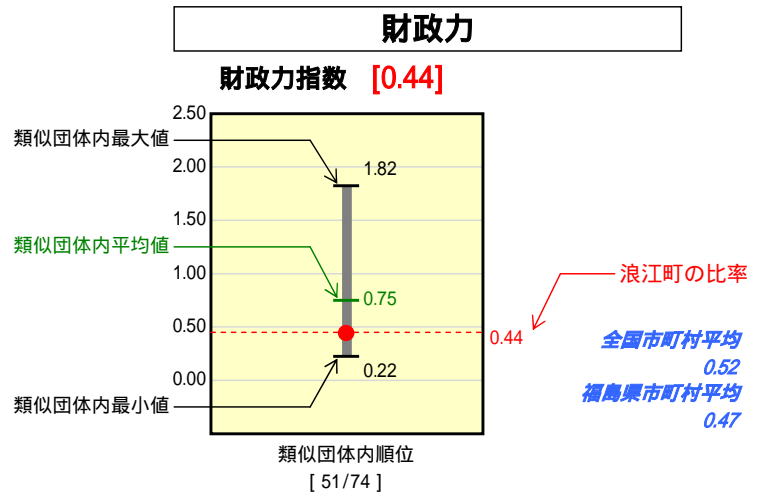


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福島県 浪江町

|      |           |                 |
|------|-----------|-----------------|
| 人口   | 22,365人   | (H18.3.31現在)    |
| 面積   | 223.10    | km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 7,404,676 | 千円              |
| 歳出総額 | 7,203,533 | 千円              |
| 実質収支 | 179,475   | 千円              |



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力指数: 財政力指数 0.44は、前年度に比べ 0.02%増加したものの、景気回復の遅れから町税が伸びず、類似団体平均を下回っている。行政改革集中改革プラン及び浪江町財政計画に沿った歳出削減(年2%程度)並びに行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。

経常収支比率: 経常収支比率 80.3%は類似団体平均を下回っているものの、物件費及び補助費等の増加により、前年度に比べ 0.3%増加している。物件費については、臨時職員の賃金体系の見直しや消耗品・食料費・印刷製本費等の経常経費の削減(年間 10%)による抑制を図るとともに、定員管理の適正化(5年間で5%減)や、浪江町公債費負担適正化計画に基づく公債費の適正水準の維持等改善に努める。

実質公債費比率: 国営請戸川土地改良事業負担金に係る債務負担行為額(H17年度 3億1,100万円)が算入されるため、類似団体平均を上回って19.5%となっている。債務負担行為については、終了する25年度まで年々減少し、

地方債の新規発行も年5億円以下に抑制することとしていることから、平成23年度には17.4%に下がる見込である。

人口1人当たり地方債現在高: 地方債の残高については、過去5年間で約3億2千万円減少し70億9百万円となっている。今後とも浪江町公債費負担適正化計画に基づき新規地方債の発行を抑制(年5億円以下)しつつ、財政の健全化に努める。

ラスパイレズ指数: 定員管理適正化計画により適正水準を維持しており、類似団体のほぼ平均となっている。今後とも新給与体系の導入等により縮減に努める。

人口1,000人当たり職員数: 平成13年度策定の定員管理適正化計画に基づき、新規採用を抑制することにより、類似団体平均を下回っている。今後とも定員管理適正化計画を基本に、住民サービスを低下させることなく、行政の電子化やアウトソーシングの活用、組織の簡素化により、適正な職員の確保を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は類似団体平均を下回っている。要因として、議員定数の見直しによる定員減(2名減)、高齢者筋力トレーニング事業着手、津島活性化センター竣工に伴う備品購入費の減など特殊要因が考えられる。今後、人件費については定員管理適正化計画により抑制を図りつつ、物件費についても経常経費を中心に抑制していく。